



2023 会 告 No.2

◇通知・案内事項

- 化学工学会第88年会 参加募集……………本号4ページ
- 第25回化学工学会学生発表会 概要……………本号8ページ

◇本部・支部大会行事の開催予定

	(2023)
◇年会	3/15～17(東京農工大学)
◇秋季大会	9/11～13(福岡大学)
◇支部大会	
◇学生発表会	3/4(オンライン)

◇本部・各支部・部会行事 (「ゴシック」は新規掲載分および修正分)

行事プログラムの掲載は1回限りです。既載行事はカレンダー会告ページ(または各支部ホームページ)をご参照下さい。

開催年月日	行 事	申込締切	会 告 ページ
2023年2月 February			
2～3	粉体技術者養成講座 第6回【ろ過】(大阪府)		7号10
2～10	GMPセミナー「医薬品製造に関わるGMPの最新動向～連続生産技術に関する講演会および 医薬・化成品製造工場／研究所の見学会～」(大阪府ほか)		1号9
3	「Pythonで気軽に化学工学 ～データ解析・機械学習入門～」講座(2/3, 16, 17)(東京都)		12号7
6	「知的生産性を高めるチームづくり」講座(東京都／オンライン)		1号6
6	化学装置材料部会 公開講座(東京都／オンライン)		1号6
8	2022年度未来の化学工学を創る会特別講演会「未来の化学工学を考え、創り、拓くために」 (愛知県)	2月1日(水)	1号8
13	2022年度コンビナート講習会「コンビナートにおける持続可能な原料への挑戦」 (東京都／オンライン)		1号7
14	第123回東海技術サロン(CSTCフォーラム)「カーボンリサイクル燃料の現状と今後の動向」 (愛知県／オンライン)		1号8
15	山口地区化学工学懇話会第80回講演会・見学会(山口県)		本号9
17	第28回旬の技術・見学講演会「実用化が進むマイクロ波利用技術の講演・見学会」 (オンライン)	2月10日(金)	1号7
22	実践化学工学アドバンス講座「攪拌・混合－性能評価技術の深掘りとCFD解析」 (大阪府／オンライン)	2月1日(水)	1号9
27	近化資源・環境セミナー「カーボンニュートラルへの挑戦～燃料・原料からのアプローチ～」 (大阪府)		本号9
2023年3月 March			
3	第23回プラント保全研究会(広島県／オンライン)	2月10日(金)	本号9
4	第25回化学工学会学生発表会(オンライン)		本号8
8	第19回キンカ高分子化学研修コース(大阪府)		本号9
15～17	化学工学会第88年会(東京都)		本号4
2023年4月 April			
25	オンライン版「化学プラントの装置材料技術」講座(4/25, 27, 28)(オンライン)	4月18日(火) 9:00	本号8

◇国際交流行事

会 期	行 事 名	申込締切	会告ページ
3月15～17日	International Chemical Engineering Symposia 2023 (IChES 2023) (東京都)		1号6
8月14～18日	The 17th International Heat Transfer Conference (IHTC-17) (第17回国際伝熱会議) (Cape Town, South Africa)		10号12

◇共 催・協 賛 行 事(本カレンダーのみのご案内です。詳細は各問合せ先へ直接ご照会下さい。「ゴシック」は新規掲載分)

行 事(場 所)	開催期日	問合せ先	電話番号(FAX) E-mail, URL
2022年度化学人材育成プログラム(東京都ほか)	2022年4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	一般社団法人日本 化学工業協会	03-3297-2578 (03-3297-2606) jinzai_ikusei@jcia-net.or.jp https://www.nikkakyo.org/Jinzai_ikuseiProg/index.html
2022年度 技術英語能力検定(技術英検)(東京都ほか)	2022年4月1日～ 2023年3月31日 (金～金)	公益社団法人日本 技術英語協会	03-3434-2350 info@jstc.jp https://jstc.jp/exam/examination/
革新的CO ₂ 分離回収技術シンポジウム～地球温暖化防止 に貢献する固体吸収材及び膜による分離回収技術の最新 動向～(東京都/オンライン)	2月13日(月)	公益財団法人地球 環境産業技術研究 機構, 次世代型膜 モジュール技術研 究組合	0774-75-2305 (0774-75-2318) bunrisympo@rite.or.jp https://www.rite.or.jp/news/events/
KISTEC教育講座「社会実装を目指すマイクロ流体デバイ ス～プラットフォームテクノロジーとしての超微量分析 ツール」(神奈川県)	2月17日(金)	(地独) 神奈川県立 産業技術総合研 究所	044-819-2033 (044-819-2097) manabi@kistec.jp https://www.kistec.jp/learn/researcher/microtas/
22-1 高分子と水・分離に関する研究会 2022年度界面動電現象研究会(オンライン)	3月3日(金)	高分子学会 高分子 と水・分離に関す る研究会	029-853-4645 info-colloid@ml.cc.tsukuba.ac.jp https://main.spsj.or.jp/c12/gyoji/water.php
第4回世界エンジニアリングデー記念シンポジウム (オンライン)	3月4日(土)	日本工学会	03-6265-0672 (03-6265-0673) eng@jfes.or.jp https://www.jfes.or.jp/
第15回先進プラズマ科学と窒化物及びナノ材料への応用 に関する国際シンポジウム/第16回プラズマナノ科学技 術国際会議(ISPlasma2023/IC-PLANTS2023)(岐阜県)	3月5～9日(日～木)	公益社団法人 応用 物理学会	052-581-3241 (052-581-5585) isplasma2023@intergroup.co.jp http://www.isplasma.jp/
生産システム部門研究発表講演会2023(福岡県)	3月6～7日 (月～火)	一般社団法人日本 機械学会	03-4335-7615 hashiguchi@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/23-10/
第16回日本化学連合シンポジウム 「withコロナ時代における化学への期待」(オンライン)	3月7日(火)	日本化学連合	03-3292-6010 (03-5577-3235) secretariat@jucst.org https://www.jucst.org/
日本膜学会講演会～2050年カーボンニュートラルに向け た二酸化炭素分離膜の最新動向～(オンライン)	3月13日(月)	日本膜学会	03-3815-2818 (03-3815-2818) membrane@mua.biglobe.ne.jp http://www.maku-jp.org/international/kouenkai.html
第37回エレクトロニクス実装学会 春季講演大会 (神奈川県)	3月13～15日 (月～水)	一般社団法人 エ レクトロニクス実 装学会	03-5310-2010 (03-5310-2011) taikai37@jiep.or.jp https://jiep.or.jp/event/convention/jiep2023s/summary/index.php

第131回触媒討論会 特別シンポジウム(神奈川県)	3月17日(金)	触媒学会	03-3291-8224 (03-3291-8225) catsj@pb3.so-net.ne.jp https://catsj131.infotecs.jp/index
第56回空気調和・冷凍連合講演会(東京都)	3月27～28日 (月～火)	一般社団法人日本機械学会	03-4335-7615 3rengo-56@jsme.or.jp https://www.jsme.or.jp/event/23-6/
混相流国際会議2023(兵庫県)	4月2～7日(日～金)	日本混相流学会	06-6466-1588 (06-6463-2522) office@jismf.gr.jp http://www.jismf.gr.jp/icmf2022
第40回空気清浄とコンタミネーションコントロール研究大会(東京都)	4月18～19日 (火～水)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) jaca@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp
酵素工学会第89回講演会(京都府)	4月21日(金)	酵素工学会	075-753-6462 (075-753-6462) enzyme.engjsee@gmail.com https://www.enzyme-eng.com/
第60回日本伝熱シンポジウム(福岡県)	5月25～27日 (木～土)	公益社団法人日本伝熱学会	092-802-3016 (092-802-3017) symp2023@htsj-conf.org https://htsj-conf.org/symp2023/index.html
第28回 計算工学講演会(茨城県)	5月31日～6月2日 (水～金)	日本計算工学会	03-3868-8957 (03-3868-8957) conf.office@jsces.org https://www.jscs.org/koenkai/28/
第60回アイソトープ・放射線研究発表会(東京都)	7月5～7日(水～金)	日本アイソトープ協会	03-5395-8081 (03-5395-8053) happyokai@jrias.or.jp https://www.jrias.or.jp/seminar/cat11/
IFAC World Congress 2023(神奈川県)	7月9～14日 (日～金)	一般社団法人 自動制御協議会/日本学術会議 (IFAC JAPAN NMO) ※申請中	045-221-2155 ifac2023@congre.co.jp https://www.ifac2023.org/
International Congress on Membranes & Membrane Processes 2023 (ICOM2023)(千葉県)	7月9～14日 (日～金)	日本膜学会	03-6892-5104 (03-6892-1830) icom_2023@nta.co.jp http://icom2023.jp/
第51回可視化情報シンポジウム(北海道)	8月8～10日 (火～木)	一般社団可視化情報学会	03-5993-5020 (03-5993-5026) office@vsj.jp https://www.vsj.jp/symp2023/
第7回ソフトマター国際会議 (ISMC2023)(大阪府)	9月4～8日(月～金)	ソフトマター国際会議 2023 組織委員会	075-383-2661 ryoichi@cheme.kyoto-u.ac.jp https://ismc2023.jp
PHMAP23 (Asia Pacific Conference of the Prognostics and Health Management Society 2023)(東京都)	9月11～14日 (月～木)	日本航空宇宙学会, PHM Society	075-753-3367 secretariat@phmap.jp https://phmap.jp/
Asian Symposium on Contamination Control 2023(石川県)	9月20～22日 (水～金)	公益社団法人日本空気清浄協会	03-3665-5591 (03-3665-5593) ascc2023@jaca-1963.or.jp https://www.jaca-1963.or.jp/
EcoDesign2023国際会議 (13th International Symposium on Environmentally Conscious Design and Inverse Manufacturing)(奈良県)	11月29日～ 12月1日(水～金)	エコデザイン学会 連合	06-6879-7260 ecodesign2023_secretariat@ecodenet.com https://ecodenet.com/ed2023/

化学工学会第88年会 参加募集

- 会 場：東京農工大学 小金井キャンパス
(〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16)
※口頭セッションはオンライン参加(発表・聴講)を可能とする予定です。
ポスターセッションは、オンサイトでの発表となりますが、GOING VIRTUAL上でポスター
閲覧と質問の書き込みを可能とする予定です。
- 会 期：2023年3月15日(水)～3月17日(金)(一部3月14日実施)
- 懇親会 会 場：中野サンプラザ(〒164-8512 東京都中野区中野4-1-1)(予定)
- 懇親会 日 時：2023年3月16日(木)19:00～21:00
- 参加登録期間：第二期 2023年2月1日(水)～2月15日(水)23:59
第三期(含む当日) 2023年2月17日(金)～3月17日(金)12:00
- 大会WebサイトURL：<http://www3.scej.org/meeting/88a/>
※参加登録は上記webサイトからのみ受け付けます。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

化学工学会第88年会は、2023年3月15日(水)～17日(金)の3日間、東京農工大学 小金井キャンパス(JR中央線東小金井駅より徒歩6～8分)にて開催されます。懇親会も開催を予定しています。

本大会では、参加登録期間が3つあり、それぞれ参加費ならびに支払期限等が異なりますのでご注意ください。

なお、本大会に参加登録された方は、本大会と同日程で開催される国際会議 International Chemical Engineering Symposia 2023 (IChES 2023)へもご参加いただけます。

奮ってご参加いただけますよう、よろしくお願いたします。

16日(木)19:00～21:00に着座方式、定員制にて開催します。
奮ってご参加ください。

参加登録方法

大会webサイトからお申込みください。(大会会場での参加登録は行いませんのでご注意ください。)

第二期 2月1日(水)～2月15日(水)23:59まで
第三期(含む当日) 2月17日(金)～3月17日(金)12:00まで

開会式等

日時 3月15日(水)9:00～

- ◇開会挨拶
- ◇名誉会員推戴式
- ◇会長挨拶
- ◇学会賞等授賞式
- ◇学会賞受賞記念講演

企画紹介

詳細は、大会webサイトまたは次号(3月号)会告をご覧ください。

学会賞等受賞記念講演

- ◇学会賞(開会式で実施)
- ◇研究賞(関連セッションで実施)
- ◇研究奨励賞(関連セッションで実施)
- ◇技術賞(産業セッションで実施)
- ◇技術奨励賞(産業セッションで実施)
- ◇アジア国際賞(国際シンポジウムで実施)
- ◇女性賞(男女共同参画委員会企画「女性技術者フォーラム」で実施)

第11回 化学工学ビジョンシンポジウム「エネルギー・資源循環に貢献する化学工学」

日時 3月15日(水)午後

主催 戦略企画会議

2015年は振り返れば環境に関する大きな採択や発表が続いた年で、9月に国連サミットにてSDGs採択、11月にCOPにてパリ協定採択、そ

して12月にEUがサーキュラー・エコノミーに関する政策パッケージを発表しています。日本でも2020年に日本政府より発表された「2050年カーボンニュートラル」宣言を契機に、経済と環境の好循環に繋げるための日本の新たな成長戦略として、カーボンニュートラルなど環境負荷低減に向けた取り組みが更に活発化し、サーキュラー・エコノミーに対する関心も少しずつ高まってきました。人類のWell-beingの向上、そして経済的成長は人類の疑いようのない目標ですが、その課程での環境負荷や資源消費を下げる「デカップリング」の重要性が広く認識されています。しかしながら、資源循環には輸送、回収、そして分離に少なからずエネルギーを要しますので、必ずしもカーボンニュートラルなど環境負荷低減との両立は容易ではありません。その両者のバランスを上手く最適化させ、俯瞰的に環境負荷や資源消費のデカップリングを達成することは、まさにシステマ的思考を有する化学工学分野の出番であると考えられます。そこで本セッションでは、広くサーキュラー・エコノミーや資源循環、そしてそのために必要なエネルギー供給に対する取り組み例を紹介し、化学工学分野への期待を改めて議論します。多様な皆様の議論への参加と議論を期待します。

特別シンポジウム

「2050年 カーボンニュートラルへの道」

日時 3月14日(火)午後

主催 地域連携カーボンニュートラル推進委員会、戦略推進センター 次世代エネルギー社会検討委員会、戦略推進センター CCUS検討委員会、戦略推進センター 社会実装学研究会

カーボンニュートラルの達成のためには、どんな社会にすべきかを検討・設計し、必要なプロセスを想定し、適切な要素技術を求めていく必要があります。化学工学会では地域産業および地域コミュニティとの連携強化により具体的なケーススタディ、カーボンニュートラルに必要な技術や学問体系の展開・深化の検討を進めています。

2020年3月以降、年会、秋季大会ごとに開催しています本シンポジウムですが、今回は、エネルギー・環境イノベーションとその社会実装について、会期前日の3月14日午後、招待講演、依頼講演、パネルディスカッションを実施します。炭素源として、廃棄物、森林バイオマス、CO₂がありますが、それらを化学品や燃料転換していく上で、地域、日本、地球全体をバウンダリと設定した場合に、どのように最適化して

新型コロナウイルス感染症への対応について

本大会は、下表の通りオンサイト開催を基本とし、口頭セッションについてはオンラインでの参加(登壇・聴講)も可能とし、ポスターセッションはオンサイトでの発表となりますが、GOING VIRTUAL上でポスター閲覧と質問の書き込みを可能とする予定です。

	口頭セッション	ポスターセッション
発表者	オンサイトを基本とするが、オンラインによる発表も可能とする	オンサイトで発表 ただし、会期中はGOING VIRTUAL上にもポスターを掲示し、書き込みのあった質疑に対応
聴講者	オンサイトで開催 口頭発表をインターネット配信し、オンライン参加を可能とする	オンサイトで開催 ただし、ポスター閲覧とGOING VIRTUALで質問の書き込みは可能

ただし、新型コロナウイルス感染症の今後の状況により、「完全オンライン開催」への変更、あるいは一部企画の中止・変更等が発生する可能性があります。なお、第88年会は、「化学工学会本部が主催するイベント開催形態に関するCOVID-19対応ガイドライン」および「化学工学会本部開催行事におけるCOVID-19感染拡大防止ガイドライン」に従います。最新情報は大会webサイトをご確認ください。

懇親会

中野サンプラザ (JR中央線・東京メトロ東西線中野駅北口すぐ)(予定)にて、会期2日目3月

いくべきかを議論していきたいと思えます。

なお、会期中、各講演に対する双方向のコメントのやり取りも可能です。参加費無料の一般公開シンポジウムとなりますので、化学工学が挑む未来社会について多くの皆様と共に語り、この活動を通じて学会全体の分野融合研究の推進と学術の発展に貢献することを期待しています。

特別シンポジウム
「化学工学分野における
スタートアップの可能性」

日時 3月16日(木)午後

持続的な経済成長の推進役として、スタートアップに掛かる期待は大きい。政府は2022年を「スタートアップ創出元年」と位置付け、年末までに5か年計画をまとめ、イノベーションの鍵となるスタートアップを5年で10倍に増やすと宣言しました。岸田総理は7月には、長野県軽井沢町で行われた経団連の会合で講演し、起業や新たな事業の立ち上げ、いわゆる「スタートアップ」への支援を強化するため、新たに「スタートアップ担当大臣」を任命する考えを表明しました。

このような中、IT技術を活用するテック系スタートアップだけでなく、社会の根深い課題を先端的な技術で解決するディープテックスタートアップに対する期待が高まっています。通常のスタートアップは数ヶ月の開発サイクルで数年での上市、5年程度でのIPOやM&Aでのエグジットを目指します。これに対してディープテックスタートアップは、製品上市まで長期間が必要となり、開発に必要な資本も一桁以上大きく、研究開発人材と経営人材のミスマッチ、研究開発人材と出資者とのディスコミュニケーション、など様々な課題に直面します。

ディープテックのシーズを持つアカデミアの人材の集まる場である化学工学会の立場から、スタートアップを創出し、社会を変えていく可能性について議論すべく本シンポジウムを企画しました。

特別シンポジウム
「SDGs達成に向けた札幌宣言の実行
— ありたい未来社会のための
化学工学 —」

日時 3月17日(金)午後

主催 戦略推進センター SDGs検討委員会
化学工学会では、2019年9月に札幌で開催されたAPCChE2019において「国連持続可能な開発目標(SDGs)に関する宣言—人々の「健康、安心、幸福」のための化学工学—」と題する札幌宣言を発表しました。SDGsを共有ビジョンとし、EfficiencyからSufficiencyへ、効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革に向けて、化学工学者が、化学工学と関連する技術の進歩を通して、人々のウェルビーイングの推進へ貢献することを第一の目的とします。

この札幌宣言の実現に向けて、これまでの秋季大会や年会において「多様な分野の協働で実現するサーキュラーエコノミー」「安全な水への化学工学の貢献」、そして「多様な人材が活躍する未来の化学工場」といった宣言に含まれる内容に関連したテーマでシンポジウムを開催し、全員参加型のグループ討議も行い、学会内外の方々と議論を深めました。

今回の年会シンポジウムでは、札幌宣言の共有ビジョンである「EfficiencyからSufficiencyへ、効率性を追い求める社会から充足性を感じられる社会への変革」について、SDGs検討委員会の

メンバーで取り組んだ活動の成果をテーマとして取り上げます。活動の成果は、具体的には①EfficiencyとSufficiencyは対立する概念ではなく、Efficiency + Sufficiencyであること。②技術者は「ユーザー(=社会の構成員)と一緒に社会づくりを進めている」認識が必要であり、③地域毎に何を必要としているか(解決すべき社会課題)を勘案して、それに対して「既存の技術が適合するか」。「適合技術が無いならどんな技術が必要なのか」を考えることが重要であることを基本コンセプトとしてまとめました。得られた基本コンセプトを題材に、他分野の人と議論し意見や考え方を融合して、札幌宣言の共有ビジョンを具現化し「ありたい未来社会のための化学工学」への道を探ることを目的とします。

国際シンポジウム

◇ Sustainable Technologies from Various
Chemical Reaction Engineering Perspectives

Date : Mar. 15 pm

Organization : Division of Chemical Reaction Engineering

The field of chemical reaction engineering has in common process engineering, the manipulation of chemical reactions, and a variety of technologies are used and studied that are not found in other fields. In order to bring sustainable development to the next generation of chemical engineering, it is necessary to create synergy with these new technologies. In this international symposium, young researchers from Japan and other Asian countries will discuss the future of chemical reaction engineering from the viewpoints of their respective research fields, with "sustainable technology" as the keyword.

◇ Recent Developments on Process Systems
Engineering

Date : Mar. 15 pm

Organization : Division of Systems, Information and Simulation Technologies

This international session bringing together researchers and practitioners to discuss recent developments on Process Systems Engineering.

◇ Organic/inorganic thin film processing for
applications to electronic and energy
devices

Date : Mar. 16 am

Organization : Division of Materials and Interfaces

This symposium will focus on coating technology and applications. We will invite Prof. Cheng-Liang Liu of National Taiwan University who has won the 2022 SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer for the keynote lecture of this symposium. We will also invite researchers working on processing of electronic, optoelectronic, and energy storage devices. Interactive comments on each lecture will be available during the symposium through GOING VIRTUAL. We hope this symposium will be fruitful and contribute to the promotion of interdisciplinary research and academic development in the materials and processing.

◇ Biomedical Engineering Challenges toward
Intractable Diseases

Date : Mar. 16 pm

Organization : Division of Biochemical Engineering

With the recent development of molecular biology and biotechnology, biomedical engineering has become increasingly important for the treatment of

intractable diseases. At this symposium, Prof. Wei Wei, who is the awardee of The SCEJ Award for Outstanding Asian Researcher and Engineer 2022 and has made great contributions to this field, gives a plenary lecture. We also invite active researchers to discuss the current status and future prospects of this field.

◇ The 11th Japan-China Symposium on
Chemical Engineering

Date : Mar. 17

Organization : China Liaison Committee, Center for International Exchange

Co-organization : The Chemical Industry and Engineering Society of China (CIESC)

In this session, new technologies on environmental protection in terms of chemical engineering in Japan and China will be presented.

化学産業技術フォーラム

◇ 化学装置の高経年化と余寿命評価、および補修による寿命延長

日時 3月17日(金)午前

日本の化学プラントは高経年化が進んでおり、その装置をいかに寿命延長しながらも安全に操業していくかが鍵となっています。化学装置材料部会で議論してきた材料の余寿命評価と、補修材を利用した寿命延長に関わる話題を中心に、化学装置の高経年化における問題とその寿命延長に関するシンポジウムを行います。

産業セッション

日時 3月16日(木)、17日(金)

◆ 口頭セッション

◇ カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦— 脱化石資源に向けた技術動向

◇ カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦— 水素社会におけるアンモニアの可能性—

◇ 「化学関連産業の経営課題」2050年の化学関連産業を考える— サステナブルからリジェネラティブへ—

◇ カーボンニュートラルを目指す化学産業の挑戦— グリーンサステナブルケミストリーを実現する技術イノベーション (INCHEM TOKYO2021 フォローアップ トークセッション)

◇ 活気に溢れ Sustainable な現場力を生み出す DX (デジタルトランスフォーメーション) 活用の取り組み

◇ 忘れてはいけない単位操作— (持続可能な社会の実現に貢献する分離技術)—

◆ ポスターセッション

◇ 活気に溢れ Sustainable な現場力を生み出す DX (デジタルトランスフォーメーション) 活用の取り組み

◇ 忘れてはいけない単位操作— (持続可能な社会の実現に貢献する分離技術)—

男女共同参画委員会企画
「女性技術者フォーラム」

日時 3月16日(木)午後

化学工学関連分野で優れた技術や研究業績を上げた女性に贈る女性賞の受賞講演を行います。また、研究開発やマネジメントにおいて第一線で活躍される女性研究者・技術者による招待・依頼講演を行います。それぞれの立場から研究開発現場における仕事の喜びや難しさ、目

標などについて伺い、創造的な研究・技術開発の場を如何にしてつくるか、持続可能な社会におけるグローバル人材の育成の視点から皆さんと一緒に考えたいと思います。

戦略推進センター CCUS 検討委員会企画 「CCUS 検討委員会シンポジウム」

日時 3月17日(金)午前

温暖化緩和策としてのCCUSの重要性が益々高まる中、3年間のCCUS研究会の活動を経て、2022年10月にCCUS検討委員会が発足しました。第一回シンポジウムでは、本委員会が取り組むCO₂の分離回収、輸送、利用および貯蔵、すなわちCCUS全体にフォーカスし、早期社会実装に向けた課題と展望について議論します。

「若手研究者が考える未来の 化学工学研究」

日時 3月17日(金)午後

気候変動、伝染病、人工知能…と社会はこれまで以上に目まぐるしく変化しています。化学工学は、この変化していく社会の中で今まで以上に必要とされることは間違いなくと思います。明るい未来を創っていくためにも化学工学は色々な分野と協力しながら、新しい考え方をどんどん取り入れていくことが必要になると考えます。本シンポジウムでは全国で活躍する様々な分野の若手技術者・研究者をお招きし、ポスター形式でリラックスした雰囲気での紹介や意見交換を行います。このような場合は、若手の技術者・研究者同士のコネクションづくりにも役立つ場になることと思います。

熱工学部会・エネルギー部会共同企画 「熱エネルギー技術の統合による CO₂削減への挑戦」

日時 3月15日(水)午後

CO₂排出量削減の問題からエネルギー創出、利用における様々な研究開発が活発に行われています。エネルギー形態の1つである熱エネルギーは産業、民生において必要不可欠であるものの、貯蔵や輸送が非常に困難であり、低温の熱については利用されことなく捨てられています。このような状況においては熱効率の向上だけではなく、未利用の熱を無駄なく利用する方法やプロセス、またマネジメント技術を開発することもCO₂排出削減において重要となっています。そこで本シンポジウムでは、サーマルサーキットなどの熱利用プロセスや熱マネジメント技術、高効率熱利用に関するシンポジウムを開催し、熱利用に関する積極的な議論を行います。

「粒子・流体プロセス部会セミナー」

日時 3月15日(水)午後

粒子流体プロセス部会で、部会賞を受賞された方に講演をしていただきます。

参加登録に関する注意事項

◇大会会場(東京農工大学)ご来場予定の調査について

準備の都合上、参加登録時点における、大会会場(東京農工大学)ご来場予定をお尋ねしま

す。見通しで結構ですので、ご協力をお願いします。その後予定が変更になった場合もご連絡は不要です。

◇参加登録期間 第一期、第二期、第三期(含む当日)の違いと注意点

第一期は2023年1月31日で終了しております。第二期は2月1日～2月15日まで、第三期(含む当日)は2月17日～3月17日(金)までwebにてお申込みいただけます(第二期終了後、第三期開始までは申込みできません)。第二期および第三期では同額になります。

第二期および第三期では当日参加料金と同額になります。

なお、第三期参加登録の場合は懇親会や講演プログラム集冊子の申込みができません。加えて講演要旨集(お申込みいただいた方のみ)の届けが会期後となります。是非、第二期の事前参加登録をご利用ください。

第一期、第二期、第三期を跨いだお申込み、お支払はできませんので、ご注意ください。(例:第一期で大会参加のみ登録、第二期で懇親会を追加登録、はできません。また、第一期でお申込みいただいたものの、支払期限日までにお支払いただけなかった場合、そのお申込みはキャンセルとなります。第二期あるいは第三期に改めてお申込み、お支払いください。)

大会会場での参加登録は実施いたしません。第三期の参加登録(オンラインのみ)は会期最終日12:00まで受け付けておりますので、そちらをご利用ください。

◇懇親会について

定員に達した場合は早期に締め切る可能性がありますので、参加ご希望の方は早期にお申込みください。また、懇親会のみへの参加であっても大会参加登録が必要となります。ご了解ください。

◇ご登壇者の参加登録について

ご登壇者(ご招待者を除く)も参加登録が必要です。会期1週間前までに参加登録を済ませますようお願いいたします。なお、名誉会員および依頼講演者の皆様へは別途実行委員会よりご案内しますので、そちらに従って手続きをお願いします。

◇参加登録時の会員資格チェック(個人会員)について

個人会員の方は、参加登録に先立ち、本年度年会費の支払い状況を確認します。当該webページにアクセスいただくためには会員番号とパスワードが必要です。予めご準備ください。参加登録いただく時点で本年度年会費のお支払が確認できない場合は、個人会員資格でのお申込みはできません。年会費をお支払いいただいてからweb上で確認できるまで2週間程度かかりますので、未払いの方は早めにお支払ください。会員資格ならびに年会費支払い状況に関するお問い合わせは、化学工学会本部(<https://www.scej.org/>)をお願いいたします。

※本大会で登壇される方(名誉会員、招待者、共催学会の個人会員、対象海外学会の個人会員を除く)および参加(聴講のみを含む)する方で会員価格で参加登録される方は、本会2023年度(2023年3月～2024年2月)年会費のお支払いが必要です。ご注意ください。

◇参加登録のキャンセル(返金)について

参加登録のキャンセルおよび参加登録費のご返金は、第一期、第二期いずれでのお申込みにかかわらず、第二期締切日(2023年2月15日(水)23:59)まで受け付けます。参加登録webサイトにてお手続きください。第二期締切日以降、ま

た第三期参加登録は一切のキャンセルならびに返金はできません。予めご了解ください。

なお、参加者の連絡先等の参加者情報(参加者名と参加登録資格(会員種別等)を除く)の変更は、随時参加登録webサイトより実施していただけますが、参加者名と参加登録資格の変更はできませんので、その場合は一度キャンセルしていただき、改めてお申込みいただくこととなります。この場合、改めて申し込まれた期の料金が適用されますので、ご注意ください。

◇講演要旨の事前公開について

第一期および第二期に事前参加登録を完了された方(参加費等支払済みの方)に、大会webサイトに講演要旨を事前公開します。公開日に、講演要旨をご覧いただくためのID、PWを事前参加登録された際に登録いただいた電子メールアドレス宛にお送りします。第三期に参加登録された方へのお知らせは、大会直前となり、事前閲覧はできません。

本大会の講演要旨公開は、2023年3月1日(水)を予定しています。

◇講演プログラム集冊子について

講演プログラム集冊子は別売りです(2,200円/部)。第一期および第二期の参加登録時に購入いただければ、郵送します。会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期の参加登録では購入できません。なお、講演プログラム集冊子のPDF版を無料公開予定ですので、購入されない方はそちらをご利用ください。

◇講演要旨集について

講演要旨集はUSBメモリとして販売します(大会参加者:3,300円/個)。大会参加費には含まれていませんので、ご注意ください。参加登録時にお申込みいただければ、郵送します。第一期および第二期に事前参加登録を完了された方には、会期前にお届けする予定ですが、郵便事情により間に合わない可能性もあります。第三期に参加登録された方には、大会終了後の発送となります。

なお、講演要旨集のディスクイメージファイルは、講演要旨集USBメモリの購入有無にかかわらず本大会に参加登録された方皆さん(公開企画のみ参加者(無料)を除く)、大会終了から3ヶ月後にwebからダウンロード(無料)いただけます。

大会に参加登録されず講演要旨集のみ購入を希望される場合は、本会会員は12,100円/個(税込・送料込)、本会非会員は23,100円/個(税込・送料込)で販売しています。お申込みは随時大会webより承りますが、現物の発送は大会終了後となります。

◇その他詳細について

大会webサイトをご確認ください。

参加費

大会参加費には、講演プログラム集冊子(別売)や講演要旨集(USBメモリ;別売)は含まれていません。ご注意ください。

大会参加費

会員資格	大会参加費			備考
	第一期 (1/5～1/31)	第二期 (2/1～2/15)	第三期 (2/17～当日)	
化学工学会個人会員の方				
正会員	13,000円	15,000円	15,000円	不課税
シニア会員	6,000円	8,000円	8,000円	
永年会員	5,000円	7,000円	7,000円	
教育会員	5,000円	7,000円	7,000円	
学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
ジュニア会員	5,000円	7,000円	7,000円	
海外正会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外連携会員	13,000円	15,000円	15,000円	
海外学生会員	5,000円	7,000円	7,000円	
化学工学会法人会員に属する方・部会に属する方等				
法人会員(*1)に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	不課税
懇話会会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会個人賛助会員	16,000円	18,000円	18,000円	
部会法人賛助会員に属する社員	16,000円	18,000円	18,000円	
(*1)維持会員, 特別会員, 特別地区会員				
他学会の個人会員の方等				
共催学会の個人会員	16,000円	18,000円	18,000円	課税税込
*2に記す海外学会の個人会員(学生を除く)	13,000円	15,000円	15,000円	
*2に記す海外学会の個人会員(学生)	5,000円	7,000円	7,000円	
(*2)AICHe:米国化学工学会, CIESC:中国化学工学会, DECHEMA:ドイツ化学工学バイオ学会, KICHe:韓国化学工学会, TwICHe:台湾化学工程學會(略称アルファベット順)				
上記以外の方				
会員外	28,000円	33,000円	33,000円	課税税込

懇親会費

会員資格	懇親会費			備考
	第一期 (1/5～1/31)	第二期 (2/1～2/15)	第三期 (2/17～当日)	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	11,000円	11,000円	不可	課税税込
本会非会員				

講演プログラム集冊子

会員資格	講演プログラム集冊子			備考
	第一期 (1/5～1/31)	第二期 (2/1～2/15)	第三期 (2/17～当日)	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	2,200円/部	2,200円/部	不可	税込 送料込
本会非会員				

講演要旨集(USBメモリ)

会員資格	講演要旨集(USBメモリ)		備考
	参加登録時 同時購入	大会終了後 別途購入	
本会会員 (個人/法人/部会個人・法人賛助会員)	3,300円/個	12,100円/個	税込送料込
本会非会員		23,100円/個	

問合せ先

◇参加登録およびお支払方法に関するお問合せ
 京王観光(株)東京第1支店
 〒160-0022 東京都新宿区新宿2-3-10 新宿御苑ビル2階
 化学工学会 運営サポートチーム
 TEL: 03-5312-6540 FAX: 03-5379-0740
 E-mail: scej.kta-tyo@keio-kanko.co.jp
 営業時間 平日10時～17時

◇その他に関するお問合せ
 化学工学会 第88年会 実行委員会
 E-mail: inquiry-88a@www3.scej.org

第25回化学工学会学生発表会 概要

主催 公益社団法人化学工学会
 共催 同 北海道支部、東北支部、関東支部、
 東海支部、関西支部、中国四国支部、九
 州支部、人材育成センター

日時 2023年3月4日(土) 9:00～

会場 遠隔会議システムを用いたオンライン開催
 ※開始時間は変更の可能性が有ります。大会
 ホームページを参照下さい。

一般発表プログラム 大会のホームページを参
 照下さい。

特別講演 「演者および演題未定」決まり次第、
 大会ホームページに掲載します。

COVID-19への対応 今回はオンラインによる
 開催の予定です。遠隔会議システムを通して
 発表・聴講をしていただきます。よって、
 COVID-19への対応は各参加者の在所自治体及
 び学校の指示に従って下さい。なお、COVID-19

の今後の状況によっては内容変更や中止の可
 能性があります。予めご了承下さい。

オンライン開催に関する注意事項 全ての発表
 をインターネット配信します。オンライン参
 加者は遠隔会議システムの環境準備(カメラ、
 マイク; PC付属のものでも可; ヘッドセット
 マイクが望ましい)が必要になります。また、
 発表内容は自動公衆送信による再送信とみな
 されますので、他人(共同研究先を含みます)
 の著作物が含まれる場合、発表者の責任でそ
 のことを含めた許諾を得る必要があります。
 なお、一切の録音・録画・撮影を禁じます。

早期参加登録 大会ホームページを参照して
 お申し込み下さい。参加費の振込に関する詳細
 はホームページをご覧ください。振込は参加申
 込後、1週間以内をお願いします。

早期参加登録申込締切 2023年2月10日(金)
 17:00まで(早期参加登録料の振込も含みま

す。これを過ぎると通常参加登録料金となり
 ます。)

参加登録費

一般 早期3,000円(通常6,000円)
 大学生 早期1,000円(通常4,000円)
 高専生(4年生以降)

早期1,000円(通常3,000円)

高校生および高専生(1～3年生) 無料
 高校生引率者 1,000円

表彰 優秀者を表彰致します。原則全員審査対
 象となります。辞退する場合はお申し出下さ
 い。

問合せ・申込み先

第25回化学工学会学生発表会実行委員会
 〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19
 公益社団法人化学工学会 人材育成センター内
 E-mail : inquiry-stu25@www3.scej.org
 ホームページ : <http://www3.scej.org/meeting/stu25/>

人材育成センター

オンライン版
「化学プラントの装置材料技術」講座
(第3回)

主催 化学工学会人材育成センター継続教育委
 員会

日時 2023年4月25日(火)、27日(木)、【オ
 プション: 28日(金)PM】

対象 以下の何れかに該当される方
 ・複数年以上、化学プラントの研究、設計、運転、
 設備管理を担当した経験を有する方
 ・腐食を中心とした装置材料技術に関する基礎
 から応用の技術を習得したい方

講習目標 化学プラントの装置材料で発生する
 損傷・劣化現象やその制御や抑制方法につい
 て理解して頂き、それらを実際の設計、運転、
 設備管理の段階で活用できるようになって頂
 きます。

化学会社で装置材料に関する課題の検討に
 経験を積んだ技術者が、設計や設備管理にお
 ける材料技術に関して、事例紹介や演習を交
 えつつ解説します。

受講のメリット

- (1) 化学プラントの装置材料における腐食を中心
 とする損傷、劣化現象に関する基礎的な知識、
 技術を習得することができます。
- (2) 材料技術を用いて、材料損傷や劣化を防止す
 る基本的な設計、機器の製作、運転、診断、
 寿命管理等を行うことができるようになります。
- (3) 装置材料に発生する損傷及び材質劣化の豊富
 な事例について、発生機構、抑制策を、カラー
 写真と共に体系的に学べます。
- (4) 本講座では事前アンケート及びオリエンテー
 ション(4月18日)を実施し、受講者の経験や
 受講目的などを把握し、講義の参考と致しま
 す。
- (5) 修了レポートにより、理解度を更に深められ

ます。
 講座内容

2023年度 本講座は、Microsoft Teamsを利用し
 たオンラインで開催致します。

オンライン開催になりますが、一方通行にな
 らないような工夫を凝らして講義してゆく予定
 です。なお、以下URLに記した注意事項にご同
 意いただけない場合は、ご参加をお断りさせ
 て頂きます。

https://scej.kkctcs.co.jp/jinzai/seminar/seminar_SCEJ_jinzai_ONLINE.pdf

オリエンテーション: 4月18日(火)13:30～30分
 程度

接続負荷のチェックを兼ねて実施します。講
 義当日と同じパソコン・通信環境(カメラ付PC
 必須)で参加下さい。

第1日: 4月25日(火)9:30～17:10

1. 設備のリスク評価
2. 装置材料の損傷・劣化と寿命およびその分
 類
3. 材料の損傷・劣化および破壊現象
4. 金属腐食の基礎

第2日: 4月27日(木)9:30～17:10

5. 装置材料とその特性
6. 防食設計と設計・製作段階での腐食制御
7. 酸環境での材料選定とアルカリ環境での腐
 食抑制策
8. 設備診断
9. 寿命予測
 演習

第3日(オプション): 4月28日(金)13:10～16:30

講師 材料技術について経験豊富な技術者
 中原正大氏(旭化成(株)製造統括本部 上席
 研究員、博士(工学)、腐食防食専門士)

受講証明書 出席基準を満たす受講者には、最
 終日に受講証明書を発行致します。

修了証 本講座では修了レポートを実施しま

す。合格ラインに達した方には修了証を授与
 致します。

継続教育ポイント 受講証明書を授与した方に
 は20 ptを授与致します。また、修了証を授与
 された方には更に10 ptを加算致します。

募集定員 20名(定員になり次第締切)6名に達
 しない場合は、開催中止となることがござい
 ます。

受付締切 4月18日(火)9:00

受講料(消費税10%込)

個人正会員 44,000円(本体40,000円)
 維持会員/特別会員の社員

55,000円(本体50,000円)

地区会員の社員 66,000円(本体60,000円)

会員外 77,000円(本体70,000円)

※第3日(10章・オプション)の受講を希望する
 場合は、下記金額が加算されます。過去に9
 章まで受講された方は10章のみ参加も可能で
 す。

個人正会員【オプション】

11,000円(本体10,000円)

維持会員/特別会員の社員【オプション】

13,750円(本体12,500円)

地区会員の社員【オプション】

16,500円(本体15,000円)

会員外【オプション】19,250円(本体17,500円)

申込方法 化学工学会ホームページ右上の“各種
 申込”の“講習会申込”と巡って頂くか、下記
 URLをブラウザに直接入力して頂き、該当す
 る講座を選択してお申込み下さい。

<https://service.kkctcs.co.jp/srms2/c/scej/event/EventList.htm>

問い合わせ先

公益社団法人化学工学会 人材育成センター
 「継続教育」事務局

〒112-0006 東京都文京区小日向4-6-19

E-mail : jinzai-seminar@att.scej.org

TEL : 03-3943-3527 FAX : 03-3943-3530

地 域 C T



関 西 支 部

近化資源・環境セミナー 「カーボンニュートラルへの挑戦 ～燃料・原料からのアプローチ～」

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部

日時 2023年2月27日(月)13:00～18:00
場所 大阪科学技術センター7階700号室(大阪市西区靱本町1-8-4)

プログラム

- カーボンニュートラルを目指した化学のこれから
(早稲田大先進理工)関根 泰氏
- カーボンニュートラルを目指したバイオものづくりの推進
(神戸大院科技イノベ)近藤昭彦氏
- SOECメタネーション技術によるグリーントランスフォーメーションへの挑戦
(大阪ガス)大西久男氏
- 二酸化炭素から電池材料～カーボン循環社会への取り組み～
(SECカーボン)川合祥太氏
- 交流会

参加費 主催・協賛団体会員15,000円、大学・官公庁5,000円、会員外20,000円、学生3,000円(テキスト・消費税含む)

定員 40名

参加申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/event/2023/r5eco.html>) から参加登録下さい。なお、参加費の送金は、銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)、郵便振替(00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会)をご利用下さい。(振込手数料は参加者でご負担願います)申込者には2月中旬頃にE-mailにて参加証を交付します。

申込先 一般社団法人近畿化学協会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: seminar@kinka.or.jp

第19回キンカ高分子化学研修コース

主催 近畿化学協会
共催 化学工学会関西支部 ほか

日時 2023年3月8日(水)9:30～18:00
会場 大阪科学技術センター4F401号室(大阪市西区靱本町1-8-4)

プログラム

- 高分子の概論と合成～基礎と最先端合成技術(京工繊大院工芸科)中 建介氏
- 高分子の製造技術～重合反応装置における攪拌と混合
(住重機械プロセス機器)竹中克英氏
- 高分子物性の基礎と応用～相溶性と高分子ブレンド

4. プラスチック成形品の不具合～原因究明とその対策
(滋賀県大工)徳満勝久氏

5. 研究開発と事業化～機能性ポリマーの企業化例を通じて
(北陸先端大)樋口裕思氏

交流会
(日本触媒)上田賢一氏

参加費 主催・協賛団体会員30,000円、会員外40,000円(消費税、テキスト代含む)

定員 40名(定員になり次第締切)

参加申込方法 HP (<https://kinka.or.jp/event/2023/kobunshi19.html>) からお申込み下さい。

もしくは、「第19回キンカ高分子化学研修コース」参加申込」と題記し、1)氏名、2)勤務先(所属)、3)連絡先(郵便番号・住所・電話番号・E-mail)、4)会員資格、5)交流会の参加/不参加、6)送金方法を明記の上、下記宛お申し込み下さい。参加費は、銀行振込(三井住友銀行 備後町支店 普通預金No.1329441 一般社団法人近畿化学協会)、郵便振替(00930-5-64179 一般社団法人近畿化学協会)のいずれかでお願います。(振込手数料は参加者でご負担願います)

申込先 一般社団法人近畿化学協会
〒550-0004 大阪市西区靱本町1-8-4 大阪科学技術センター6階
TEL: 06-6441-5531 FAX: 06-6443-6685
E-mail: seminar@kinka.or.jp



中国 四 国 支 部

山口地区化学工学懇話会 第80回講演会・見学会

共催 山口地区化学工学懇話会、化学工学会中国四国支部、山口大学化学プロセス強化研究教育推進体

日時 2023年2月15日(水)13:00～17:00
会場 講演会 山口大学工学部D11講義室(宇部市常盤台2丁目16-1)
見学会 山口県産業技術センター

プログラム

- 13:00～15:00 第80回講演会
講演1(13:10～14:10)
「化学工学会が挑むカーボンニュートラル社会の実現」
東京大学 環境安全研究センター 教授 辻 佳子氏
- 講演2(14:20～15:00)
「やまぐちコンビナート低炭素化構想について」
山口県 産業戦略部 産業脱炭素化推進室 主査 勢登俊明氏
- 15:30～17:00 見学会 山口県産業技術センター
申込等詳細は、山口地区化学工学懇話会HP参照
<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~konwakai/>
問合せ先 山口地区化学工学懇話会事務局
〒755-8611 山口県宇部市常盤台2丁目16-1 山口大学工学部内
E-mail: konwakai@yamaguchi-u.ac.jp

第23回プラント保全研究会

主催 (公社)化学工学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会

本研究会は、化学産業等で重要となるプラントの設備管理、保全技術の向上のための勉強会です。化学工学会会員・非会員を問わず、保全設備関係または工務関係の方々をお誘い合わせの上、多数ご参加ください。

日時 2023年3月3日(金)14:30～19:00
場所 TKP ガーデンシティ PREMIUM 広島駅前カンファレンスルーム7B(講演会)、ホール7A(交流会)
(〒732-0821 広島県広島市南区大須賀町13-9)
(交通)広島駅(南口・在来線口)から徒歩2分

開催形式 ハイブリット(WEB参加の方に個別に招待状をお送りします)

プログラム

- [講演]14:30～16:40
- (14:30～15:10)「水素製造に用いられる触媒管の余寿命管理」
千代田化工建設(株)シニアコンサルタント 柴崎敏和氏
 - (15:15～15:55)「溶射・溶接による装置・動力機械の長寿命化・延命化」
光栄テクノシステム(株)取締役社長 徳本 啓氏
 - (16:00～16:40)「プラント保全におけるAI開発と活用ープラント保全における熟練専門家依存度の軽減」
(株)ベストマテリア 会長 木原重光氏
(合)設備技術研究所 代表社員 松田宏康氏
[交流会]17:00～19:00

参加費(消費税込み)

	講演会	交流会
化学工学会会員、中国四国支部内の懇話会会員	無料	2,000円
非会員	1,000円	

申込方法 申込先フォームサイトでお申し込みください。

URL: <https://forms.office.com/r/CSd9nflfcD>
申込先フォームで申し込みできない場合は、E-mailにて、会社名、所属、氏名、会員・非会員の区別、連絡先(住所、電話、E-mail)、現地参加かWEB参加、交流会参加の有無を記載し、お申し込みください。

申込締切 2023年2月10日(金)
問合せ先 〒739-8527 東広島市鏡山1-4-1 広島大学工学部化学工学講座内 中国地区化学工学懇話会事務局
TEL: 082-424-7718
E-mail: ysasa@hiroshima-u.ac.jp
URL: <https://konwakai.hiroshima-u.ac.jp/>